

## 今回登録される美術工芸品の概要

けんちくきょういく けんきゅうしりょう せんだいこうとうこうぎょうがっこうけんちくがつかきゅうぞう  
建築教育・研究資料（仙台高等工業学校建築学科旧蔵）

1, 437点

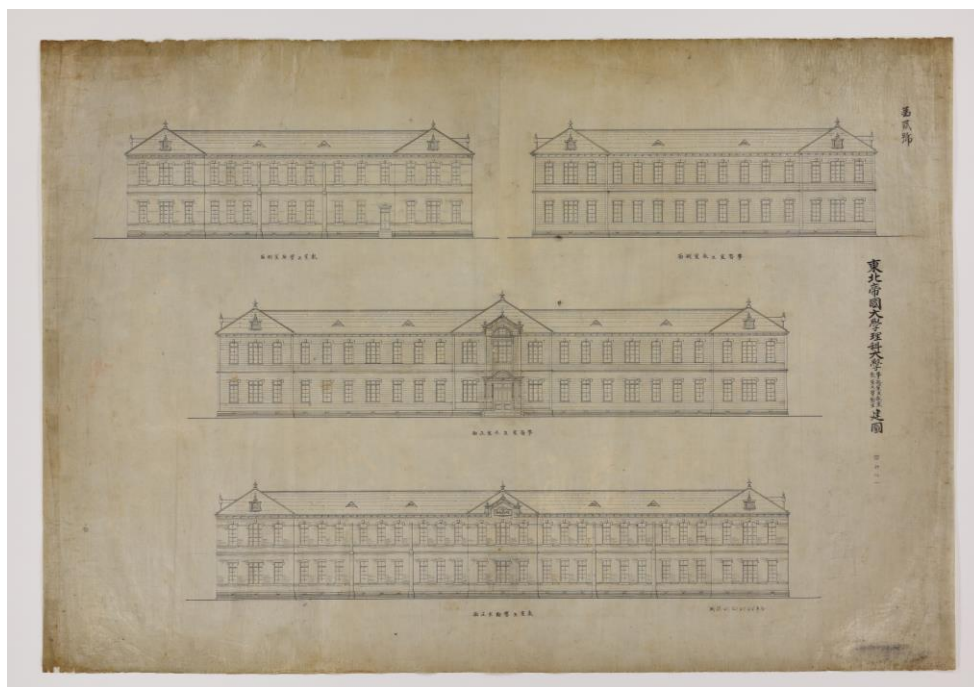
東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻の前身である仙台高等工業学校建築学科（昭和5年学科設置）等において、同校初代建築学科長兼教授として一貫して建築教育にあたってきた小倉強（1893～1980）を中心に同校教官等により収集、制作、使用された資料群で、建築模型類90点、建築標本類98点、建築古材類87点、実測図面267点、典籍類84点及び写真原板類811点から構成される。地方中核都市の旧制高等教育機関における建築教育、研究資料が多様な分野にわたり関連性を有しながら豊富に残され、その建築教育、研究の実際を窺うことができ、建築史学・教育史上に学術価値を有する。



（東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻所蔵）

1, 139点

旧仙台市片平丁などに所在した、第二高等中学校をはじめとする東北大学の前身となった官立高等教育機関等の建築図面類で、東北帝国大学営繕課に保管されていた一群である。これらは、文部省及び東北帝国大学等の営繕組織が設計・監理を担当したもので、明治20年（1887）設立の第二高等中学校のものを最古のものとして、学制改革に伴い新制の東北大学に改組される以前の昭和24年3月までの図面類を一括して登録対象とする。当該建造物の構造、意匠、諸室配置、内装、設備など建築の内容を知ることができるだけでなく、設計機関、設計者の具体を窺うことができるもので、近代日本の高等教育機関の営繕組織の変遷、すなわち文部省から東北帝国大学の建築掛・営繕課へと移行していく歴史的経緯を明らかにする。近代の高等教育機関の建築史、教育史等研究上に学術価値が認められる。



（東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻所蔵）